



## 静岡県のスエヒロ工業 職人の採用を本格的にスタート コロナ禍の協力会社とともに歩むための社員登用制度とは ～未経験の職人・女性の職人を育成します～

静岡県沼津市に本社がある株式会社スエヒロ工業は、今年から職人の採用を積極的に行っています。当社はマンションの大規模修繕工事や、戸建て住宅向けの外壁塗装などの受注・現場管理を行い、現場は協力会社の職人が作業を行うスタイルで、事業を拡大してきました。2020年に2人の職人を採用したことをきっかけに、今年3月にはさらに1人の職人を雇用。この3人は、経営難で自社を畳まざるをえなくなった協力会社の親方やその従業員です。小・零細規模の企業は新型コロナウイルスの影響もあり厳しい状況が続く中、当社を支えてきた技術力の高い職人たちを社員登用し、さらに機動力のある会社を目指しています。今年7月には当社で初めて、10代の職人を雇用しました。今後、若手職人の採用も行い、次世代の技術者の育成にも力を入れていきます。

また2021年6月には、本社会議室を利用したキッズスペースを整備。子連れ出社も可能な状況を作ったことで、職人や施工管理を担う女性の採用も本格的にスタートします。建設業界全体で問題となっている「技術の継承」「女性の雇用」などに向き合うことで、次世代の担い手を少しでも増やしていく考えです。

### 【コロナ禍で一人親方に打撃急増の中、スエヒロ工業は一人親方を大事にする会社】

2021年2月に東京商工リサーチが、「新型コロナウイルス」関連の破たん件数に関して、飲食業、アパレル関連に次いで、建設業は3番目であると発表しました。破たんの原因は、「受注案件の延期」や「中止などによる事業環境の悪化」がもっとも多く、なかでも小・零細規模の企業が大多数とされています。

弊社が受注した現場で、実際に現場で働くのは協力会社の職人がほとんど。協力会社の多くが、一人親方か、親方含め2～3人の小さな会社ばかりです。



2021年7月時点で、株式会社スエヒロ工業は、従業員23人、約40の協力会社を抱えています。「社員も協力会社も家族である」というのは、先代社長からの教えで、現在の代表取締役社長である櫻井弘紀(写真:右)にも引き継がれています。

当社が前年に売上げ好調になったのは協力会社あってこそ、と考えていて、協力会社の悩み・課題は、当社の悩み・課題として扱っています。これまで櫻井は協力会社のリクルート支援や財務関係の整理も行っています。

## 【40歳と45歳の“新入”社員！親方がスエヒロ工業に入社した理由とは】

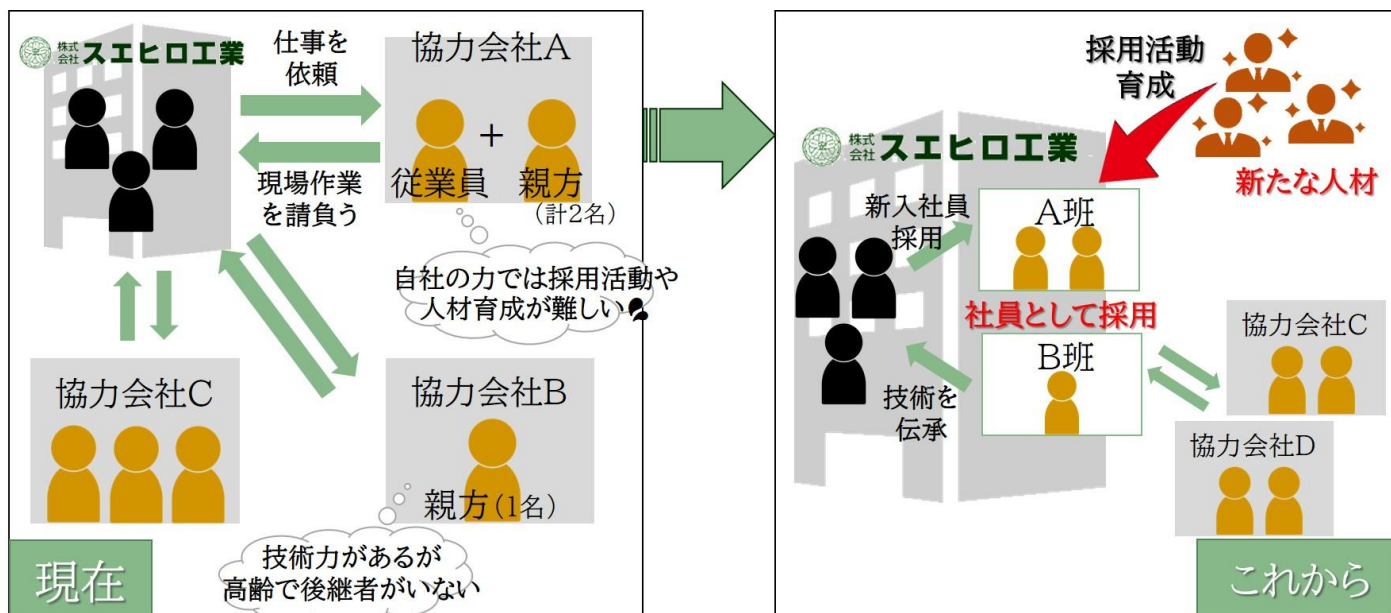
2020年3月、スエヒロ工業では、ともたか工業の親方・渡邊とその従業員・山本を中途採用しました。15歳で職人となり、独立して10年間、親方として現場一筋でやってきた渡邊は、住民税の滞納などで差し押さえの通達が来て、当社代表の櫻井に相談。「二人でスエヒロ工業に来ないか」と声を掛けられ、自分だけでなく従業員も一緒にと言われ、「ただの下請けではなかった」と胸が熱くなったと言います。

40歳にして初めての会社員生活になった渡邊は「何より、自分以上に自分の家族のことを考えてくれる。自分のためにみんなが動いてくれたり、本気で怒ってくれたり心配してくれる。」と1年を振り返りました。

今年も協力会社の一人親方(45歳)が、当社に入社しました。今後も協力会社の状況に応じて、従業員も含めた入社制度“逆独立採用”を行っていく予定です。協力会社の課題の解決と、当社の事業拡大を目的に行い、新たな働き方を構築していきます。



弊社独自の“逆独立採用”は、建設業全体で問題となっている担い手不足や技術力の継承を解決することができる取り組みであり、協力会社の課題を解決できると考えています。2021年7月、スエヒロ工業初となる10代の職人を採用しました。防水工事の経験者で、現在18歳の彼を、今後ベテラン職人たちが育成していきます。今後も、積極的に職人の採用を増やし、建設業の未来を作っていきます。



これまでスエヒロ工業を支えてきた技術力の高い協力会社が社員になることで、会社が成長し、会社が受注できる現場規模が拡大し、複数の現場を同時並行でき、受注数が増えると予想しています。受注数を増やすことで協力会社への発注は変わらずに行い、還元していきたいと考えています。

また、一度当社に入社した協力会社も、当社で新たに育てた人材や温存した体力をもとに再度独立することも可能です。そして、こうした採用方法が、「現場を担う技術労働者(技能者)の高齢化や若者の減少といった構造的な課題」の解決を図り、「建設業を支える優秀な担い手の確保・育成」につながるものとして、継続的に取り組んでまいります。



さらに数年後…



独立

協力会社A

協力会社C

協力会社D

新たな従業員を雇用する  
体力・採用力・育成力を  
スエヒロ工業で培い  
再び協力会社としてパワーアップ！！

## 【キッズスペース設置！子連れ出社 OK で賑わう夏休み～使用頻度減った会議室利用～】

2021年6月、会社の一部に、キッズスペースに設けました。新型コロナウイルスの影響で利用する機会が減った会議室を利用し、従業員の子連れ出社をしやすいのが目的です。すでに放課後、小学生たちが会議室に帰宅し、仕事終わりまで思い思いの時間を過ごしています。これから夏休みを迎え、従業員の小学生が宿題をしたり一緒に遊んだりしながら、親の仕事時間を目の当たりにする姿が見られると予想しています。



職人が社員になったことで、スエヒロ工業内で未経験でも職人を採用し、一から育てることができる環境が整いました。またキッズスペースの設置により現場復帰を望む女性職人の採用も視野に入れていきます。さらに、卒業後の進路として一から当社で職人として技術や資格を取得し、産休育休を経て現場復帰するような長期的なキャリアプランを実現できる会社になれば…と考えています。

現状は内勤の社員がこのスペースを利用して仕事をしていますが、今後は外勤や職人が子連れ出社できるよう整える予定です。当社には保育士資格を持った者(2人)が従業員にいてもあり、将来的には、ここを託児スペースにし、ゆくゆくは企業主導型の保育所を作ることも視野に入れていきます。

櫻井は、「どんな状況の人でも働ける環境を整えることで、男性も女性も働き続けられる会社にしていきたい。協力会社の職人が当社の社員になったり、建設業界で働く女性がキッズスペースを機に増えたり、女性の職人が誕生したり…多様な働き方ができる会社へとしていくことが、今後の建設業全体が変わる一歩になればいいと思う」と話します。

## 【会社概要】

名称	： 株式会社スエヒロ工業		
本社	： 静岡県沼津市足高 287-29		
代表取締役社長	： 櫻井弘紀		
事業内容	： 防水工事業、塗装工事業、左官工事業、内装仕上工事業、とび・土工工事業、石工事業、屋根工事業、タイル・レンガ・ブロック工事業、板金工事業、建設工事業、ヘルスケアウェルネス事業		
会社創業	： 1987年5月1日	協力会社数	： 約40社
従業員数	： 23人(職人5人・ヘルスケアウェルネス事業5人を含む)		
URL	： <a href="http://www.suehiro-kogyo.co.jp/">http://www.suehiro-kogyo.co.jp/</a>		